

# 「第 17 回 港南区の歴史散歩」

## 1. 日時、コース

(1) 日時 : 平成 15 年 5 月 10 日 9:00~12:00

(2) コース : 別所・武相国境・医療の里芹が谷

バス停「水道橋下」 武相国境(別所5) 芹が谷1丁目公園  
(芹が谷1-24 福本葡萄園跡(芹が谷2-1) こども医療センター  
(六ッ川) ~ 勘九郎地蔵尊跡(六ッ川4-1233) 山谷天神  
(六ッ川4-1183) 県立医療センター・国立南横浜病院 ~ (芹が谷2)  
芹が谷1-17の石仏庚申塔 バス停「芹が谷」

注1: 囲み数字(例= )は別紙資料に記載されている番号を示す。



注1: 囲み数字(例= )はスナップ写真に記載されている番号を示す。

## 2. 当日のスナップ

- ・ 別所インターチェンジの近く芹が谷 1-15 地点に道標を兼ねた百万遍念仏供養塔が建っています。右面に「武叡相叡境道」左面に「戸塚道」の刻字があり、武相国境であることを示しています。
- ・ 江戸時代、芹が谷は相模国鎌倉郡永谷中村に属していましたが、明治初期永谷中村と永谷上村が合併永谷村となり、明治 22 年には上・下野庭村と永谷村が合併して永野村となり、横浜市への編入は昭和 11 年でした。
- ・ 大正 3 年下永谷・芹が谷の戸数は 74 戸と言う純農村地帯でした。  
大正 12 年、当地の福本与四郎が葡萄園を開設、事業は順調に発展してきたが昭和初期の世界大恐慌で倒産、葡萄園も整理された。
- ・ 昭和 4 年県立精神病院として芹香院が開業、昭和 12 年には現在の国立病院機構南横浜病院開業、隣接する六ッ川には昭和 45 年県立こども医療センターが開設され、医療の里となっている。

(1) 武相国境・別所周辺  
南区別所 5-27 にて  
本日の散策説明



(2) 別所の庚申塔  
別所 5-27 三叉路脇  
青面金剛像  
(寛政 12 年)



3) 武相国境石仏道標  
芹が谷 1-15  
百万遍念仏供養塔  
(寛政元年)



(4) 芹が谷一丁目公園  
芹が谷 1-24  
この道の右は南区



(5) 福本葡萄園を偲ぶ  
芹が谷 1-1  
写真右 木立の中



(6) 旧葡萄園前の  
給水塔



(7) 勘九郎地蔵尊跡  
南区六ッ川 4-1233  
本像は大久保 2 の自性院に



(8) 山谷天神  
南区六ッ川 4-1183  
境内に巳待塔がある



(9) 山谷天神の  
巳待塔



(10) ジェット練習機の機体、?  
趣味もいろいろありますね  
南区六ッ川 4 にて



(11) 県立精神医療センター  
センター内、芹香病院  
芹が谷 2-3



(12) ひばりが丘学園  
入口



(13) 石仏庚申塔 - 青面金剛立像 芹が谷 1-17-5  
芹が谷 1-17-5



(14) 芹が谷 1-15 での説明  
前記(3)の供養塔の前で

